

科目名	総合科目 I	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	General Subject I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな		実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	経済学部専任教員	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	大学での勉強とはどのようなものだろうか。大学での勉強の方法（技術）を学習する。			
到達目標	大学生に必要な基本知識・スキル・生活パターンを身につける。また、本や新聞記事を読み、内容を理解して要約し、レポートとしてまとめる能力を身につける。			
授業概要	大学での勉強や生活は、高校までとは様変わりします。そのため、入学後にとまどいを覚える学生も少なくありません。この授業では、高校と大学の勉強方法の違いを学び、さらには大学で必要とされるスキルを身につけてもらいます。			
授業計画				
第1回	ガイダンス			
第2回	大学で何をどう学ぶか？ スタディ・スキルズとは（第1章）			
第3回	講義を聴いてノートにまとめる（ノート・テーキングのスキル）（第2章）			
第4回	ノート・テーキングの実践（講義ノートをとる）（第2章）			
第5回	テキストの種類に応じた読み方を身につける（リーディングの基本スキル）（第3章）			
第6回	文章の要約（より深いリーディングのために）（第4章）			
第7回	大学図書館における情報収集（図書館の利用方法の資料の種類）（第5章）			
第8回	インターネットによる情報収集（第6章）PC			
第9回	情報の整理（情報の整理・文献リスト）（第7章）PC			
第10回	アカデミック・ライティングの基本スキル①（レポートとは）（第8章）			
第11回	アカデミック・ライティングの基本スキル②（論文作法）（第8章）			
第12回	効果的なアカデミック・ライティングのために（第9章）PC			
第13回	パソコンによるライティング・スキル（表・グラフ作成）（第10章）PC			
第14回	プレゼンテーションのスキル（第11章、第12章）PC			
第15回	前期のまとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	テキストをよく読み、内容を理解してください。高校までの学習と大学での勉強は、本質的に何が違うのかよく考えてください。予習1時間程度、復習1時間程度必要。また、現代社会に目を向けること（1時間程度）。新聞、ニュースに目を光らせておくこと。			
履修条件 受講のルール	経済学部1年生の必修科目です。 教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には配布しません。また、この科目は、各クラスでの学習とは別途、公務員、金融、国際ビジネス、スポーツ経営の4つのコースでの学習と連動しています。コースでの学習にも参加してください。 この授業では、各自で購入したパソコンを利用することがあります（特に、上記のPC回について）。ワード、エクセル、パワーポイントの3つを使うことができるように用意しておいてください。 また、小テストやレポート、参考書などに関する情報はすべてポータルサイトで周知する。必ず確認すること。			
テキスト	学習技術研究会『知へのステップー大学生からのスタディ・スキルズー 第5版』くろしお出版			

参考文献・資料	講義中に紹介する。
成績評価の方法	<p>試験（30%）、レポート・課題提出（70%）  上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。</li> <li>・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。</li> </ul>
オフィスアワー	各クラスの担当教員に確認すること。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	大学入学時の自分の力を確認し、長所を伸ばし、不足を補いましょう！